

ウクライナ語デジタル辞典（Mac およびスマートフォン・タブレット用）（無料）の使い方

この辞典には、次の辞書が入っています。

1. ウクライナ語日本語語彙集（約 10 万語）
2. 日本語ウクライナ語語彙集（約 7 万語）
3. ウクライナ語頻度辞典（約 10 万語）
4. ウクライナ語不規則変化辞典（約 4 千語形）

3 のウクライナ語頻度辞典（約 10 万語）は、次のホームページ上で公開されているウクライナ語頻度データ（<http://u-mova.blogspot.com/2013/09/blog-post.html>）をデジタル辞典化したものです。

1 のウクライナ語日本語語彙集（約 10 万語）は、生成 AI「Claude」を利用して、頻度データの 10 万語にアクセント記号付きの発音記号と日本語の訳語を付け、更に頻度上位 1 万語にウクライナ語の例文とその日本語訳を付け、一部の単語に【より詳しい説明】を付けたものです。

2 の日本語ウクライナ語語彙集（約 7 万語）は、1 のウクライナ語日本語語彙集を反転させ、エクセルその他を利用して読み仮名を自動で付けたものです。

4 のウクライナ語不規則変化辞典（約 4 千語形）は、次のホームページ上で公開されているウクライナ語デジタル変化表（<https://lcorp.ulif.org.ua/dictua/>）を利用して、不規則変化する単語の変化形から原形を引くことができるようにしたものです。

この辞典の特徴は以下の通りです。

3 のウクライナ語頻度辞典（約 10 万語）は、「発音記号」の所に「*」と頻度順位の数字で頻度が示されるほか、「WORD」欄に「*」を入れると、頻度順に並んだ単語を見ることなどができます。記号は、頻度順位 1 番～2,000 番の二千語に「***」、2,001～5,000 番の三千語に「**」、5,001 番～10,000 番の五千語に「*」が付いています。

1 のウクライナ語日本語語彙集（約 10 万語）は、ウクライナ語の文字（キリル文字）とラテン文字（ローマ字）のどちらでも辞書引きができ、**キリル文字のキーボードを正確に覚えていない人でも通常のラテン文字のキーボードで辞書引きができます**（キリル文字・ラテン文字両用引きシステム）。変換方法は下の表に従っています。

| キリル | ローマ | キリル | ローマ | キリル | ローマ |
|-----|-----|-----|-----|-----|------|
| А а | a | Ї ї | yi | Ф ф | f |
| Б б | b | Й й | y | Х х | kh |
| В в | v | К к | k | Ц ц | ts |
| Г г | h | Л л | l | Ч ч | ch |
| Ґ ґ | g | М м | m | Ш ш | sh |
| Д д | d | Н н | n | Щ щ | shch |
| Е е | e | О о | o | Ь ь | ' |
| Є є | ye | П п | p | Ю ю | yu |
| Ж ж | zh | Р р | r | Я я | ya |
| З з | z | С с | s | | |
| И и | y | Т т | t | | |
| І і | i | У у | u | | |

2 の日本語ウクライナ語語彙集（約 7 万語）は、通常の日本語（かな漢字混じり）のほか、**ひらが**

な読み仮名とアルファベット（ヘボン式）の読み仮名でも引くことができます（ひらがな・アルファベット両用引きシステム）。

4 のウクライナ語不規則変化辞典（約 4 千語形）は、不規則変化する単語の変化形で検索すると、*йтимуть*→*йти* のように→で原形を示します。

この辞典の利用に当たっては、以下の点を了承の上で利用してください。

1. 発音記号、訳語、ウクライナ語の例文とその日本語訳、【より詳しい説明】は、生成 AI (Claude) の現在のレベルに応じたものであり、すべてが正確だとは限りません。発音記号については、生成 AI のモデルによって、記述の仕方が多少異なります。
2. 日本語のよみがなについては、エクセルのレベルに応じたものになっており、すべてが正確だとは限りません。

1 Mac およびタブレット・スマートフォンで使用方法

この辞書は Windows のアプリ PDIC 用に作られたものですが、Mac およびタブレット・スマートフォンでは、PDIC の互換アプリを使えば使用することができます。iPhone ではウクライナ語の発音を聞くこともできます。

ここでは iPhone と iPad で利用できる辞書検索アプリ「EBPocket Professional」（有料版）を使った利用の仕方のみ説明します（**機能の制限された無料版でも使用できます**）。より詳しくは、PDIC チェコ語辞典のマニュアル（[manual.pdf](#)）の「VI. タブレットとスマートフォンでの辞書の使い方」「V. Mac. パソコンでの使い方」を参照してください。

まず、ダウンロードした圧縮ファイルを展開（解凍）し、必要なら中身を適当なフォルダにコピーします。

・端末の設定

Apple 系タブレットとスマートフォンでウクライナ語辞典を使用するために、まず端末の設定で次のようになります。

1. 端末の設定画面を出して、「一般」→「言語と地域」→「言語追加」で「Українська ウクライナ語」を追加します。
2. 同様に、「一般」→「キーボード」→「キーボード」→「新しいキーボードを追加」で「ウクライナ語」を追加します。
3. 「アクセシビリティ」→「読み上げコンテンツ」で「選択項目の読み上げ」をオンにします。
4. 「読み上げ速度」は初期設定ではかなり早いので、ここのバーを左にドラッグして、スピードを少し遅くした方が良いでしょう。

音声入力を利用する場合は、更に次のようにします。

5. 「一般」→「キーボード」で「音声入力」をオンにします。
6. iPad の場合は更に、「一般」→「Siri」で「Siri」をオンにします。

・EBPocket のインストールと設定

Apple 系スマートフォンとタブレットのアプリ検索サイトで、「EBPocket」を検索して、インストールします（有料版 EBPocket Professional の URL は <https://itunes.apple.com/jp/app/ebpocket-professional/id317039933?mt=8>）。

辞書ファイルの転送は、パソコンに iTunes をインストールした上で、iTunes の「ファイル共有」機能、あるいは FTP を使って行います。パソコンと iPhone をケーブルで接続して iTunes を起動し、iPhone

の端末を選んでから、「ファイル共有」をクリックし「EBPocket」を選択し、「EBPocket の書類」の所に辞書ファイル (×××.dic) をすべてドラッグ&ドロップします。端末への転送が完了したら、iTunes を終了して、iPhone からケーブルを外します。

iTunes でうまくファイルを転送できない時は FTP を使用してください。詳しくは次の URL を参照してください。 http://ebstudio.info/manual/EBPocket_iphone/web_dict.php

次に、EBPocket Professional を起動し、4 冊の本を立てたアイコンをタップし、「グループ」をタップして、「編集」をタップし、「追加」で「ウクライナ語」を追加して「完了」をタップします。「ウクライナ語」にチェックが入っている状態で「辞書」を選択し、ウクライナ語のすべての辞書ファイル (×××.dic) が登録されている状態にします。また、複数の辞書ファイルを同時に検索する「串刺し検索」を選択しておきます。ただし、「串刺し検索」でうまく検索できない場合は、一つの辞書ファイルを指定します。

更に、EBPocket Professional の設定で、次のようにします。

1. EBPocket Professional の設定アイコンをタップして設定画面を出し、「詳細」→「Safari の使用」をオンにします (こうすると、WEB 検索時に速度は落ちますが操作性が高まります)。
2. 「アクセント記号を除去して検索」をオンにします。
3. 「クリップボード検索」をオンにします。

不規則変化形から検索する時は、例えば йтимуть で検索して йтимуть→йти と原形が表示されたところで、原形の йти を長押しして選択し、メニューを表示させてから「検索」をタップすると йти が検索されます。また、「読み上げ」をタップすると、ウクライナ語の発音を聞くことができます。

Web 検索の設定は、下部の設定アイコンをタップし、「Web 検索」を選び、空いている番号の所に (あるいは既存のものを削除して) 情報を入力します。設定の仕方がやや複雑なので、EBPocket Professional のマニュアルを見ながら、「Ukrainian-websrch.tsv」をテキストエディタで開いて、その情報をコピーし、「&C(\$w,utf8)」の部分削除して、マニュアルにある形式に加工して使ってください。

2 Google 翻訳と連携した手書き入力の方法

PDIC ウクライナ語辞典を使用できる辞書ソフト自体には手書き入力機能はありませんが、Google 翻訳の手書き入力機能と連携すれば、ウクライナ語を手書き入力することができます (タブレット・スマートフォンのほか、タッチパネルを使っていれば Windows でも)。

Google 翻訳の手書き入力機能は、複数の文字を連続して手書きしたもの (1 単語) を一度に認識してくれる点と、それほどきれいに書かなくても正確に認識してくれる点で優れています。

Google 翻訳の手書き入力機能を用いたウクライナ語辞書の引き方は以下の通りです。

1. タブレット・スマートフォンでは、あらかじめ Google 翻訳アプリをインストールしておきます。パソコンでは、ブラウザで Google 翻訳のサイトにアクセスしておきます。
2. 辞書ソフトの設定で、あらかじめクリップボード検索を有効にしておきます (設定の仕方についてはそれぞれのソフトの説明を参照してください)。
3. Google 翻訳を起動し、左側の窓の翻訳元の言語でウクライナ語を選択しておきます。
4. 下にある入力ツールのアイコンで手書き入力を選択します。
5. 手書き入力スペースに、引きたいウクライナ語の単語を手書きします (連続した複数の文字全部を一気に手書きしても大丈夫です)。
6. 表示されたウクライナ語の単語を入力してから、それを全選択してコピーすれば (Windows パソコンなら CTRL+A と CTRL+C)、クリップボード検索により、辞書ソフトの方で検索されます。